

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2021年 5月 14日

事業所名 JSS水夢八尾

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%	・身体の使い方や空間をとらえる経験のため、階段やドアの設置を行っている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・日頃の様子を日々のミーティングで共有し、そこでの情報も参考に検討し、目標設定を行っている。設定された目標や振り返りの内容をミーティング等で共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・毎年アンケートを実施し、その結果から改善策を検討する	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	・事業所外の講師や本社の事業所管理役員に助言を得て、業務改善に繋げている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・年に数回外部講師による研修と、事業所内の研修を実施	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・毎日のミーティングで利用児やその保護者の様子を共有し、その情報なども参考にアセスメントを複数の指導員で行い、計画作成を行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・発達検査や知能検査の実施や結果を用いている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・感覚統合、制作、運動、ソーシャルスキル等様々な活動を取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・月案を作成し、子どもの力に合わせて課題の検討を行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・個別で取り組んだことを集団で活かせるよう、支援計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・開始前のミーティングでその日の活動内容や前回利用の際にあったことを記録を確認しながら共有し、支援内容や役割確認をしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・共有事項を確認できるミーティング内容の記録を各スタッフが確認するようにし、支援終了後に再度振り返りをしたりしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	50%	50%		・記録内容を端的に捉え、検証しやすい様式を作成中
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・利用児に合わせた時期で定期的にモニタリングを行い、複数の指導員で計画の見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%			

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	50%	50%		・サービス担当者会議の実施が今までにないが、当事業所の指導員間で支援の話し合いは行っている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・送迎は行ってないため、学校との日々についての情報共有は行っていないが、利用児が通う小学校への連携を行い、学校との利用児に対する情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%		・今までに対象の利用児がないが、必要に応じて連絡体制を作りたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	50%	・児童発達支援事業所から引き続き当事業所を利用していただいているので、指導員間で情報共有している	・今後外部からの受け入れする利用児については必要に応じて通っていた園や事業所との情報共有を行いたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%		・今までに対象の利用児がないが、今後移行する利用児がいる場合は必要に応じて行いたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	50%		・実施があれば参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時に保護者との情報共有の時間を設けており、その中で共通理解を持てるようにしている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%		・ペアトという形式まで取れていないが、個別相談を随時受けて、保護者の対応力向上を図ろうと努めている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・お迎えの時間や希望する保護者に個別相談等で相談に応じられるように心がけている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		・コロナウイルス感染の影響により今年度は実施できず ・今後年に数回の実施を検討している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・保護者からの申し出をミーティング等で速やかに指導員全員に情報共有を行い、対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月お便り配布を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・言葉だけでなく視覚情報等、活用できる様々な手段を検討して用いるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		・地域住民を招待するような行事は行えていないため、今後検討してみたい。
非常時 等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・年1回指導員研修で行っている。 ・保護者には契約時に伝えている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	50%	50%		・ミーティング等で話しているが、研修までは行えていないため、今後の研修に組み込むよう検討したい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		・今まで対象の利用児がない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・事故等に繋がりが兼ねないと、スタッフの一人でも感じた場合迅速に情報共有を行い、必要に応じて作成し、再度共有している	